

コウノトリ呼び戻す農法

☆コウノトリ呼び戻す農法の定義

おいしいお米と多様な生き物を育み、コウノトリも住める豊かな文化、地域、環境づくりを目指すための農法（安全なお米と生き物を同時に育む農法）

1. 農法の基本的な考え

- ① 生き物を大切にすること。
- ② 化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと。
- ③ 遺伝子組換え技術を利用しないこと。

これらを基本として、農業生産に関する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業。

2. 栽培の基本

- ① 除草剤や農薬は使用しない。
- ② 有機質資材の使用。
 - ・ 部会が推奨する資材を使用し、栽培暦を遵守する。
- ③ 生き物との共生のため、冬水田んぼの実施。
- ④ 中干延期の実施（7月中旬頃まで）。

3. 栽培における目指すべき方向

- ① 収量や品質アップを目指し、土づくりに力を入れる。
 - ・ 田の土の状態を知るために、土壌診断を実施。
 - ・ 稲の栽培に適した土にするため、必要な資材を必要な時期に投入する。
（但し、特別栽培認証①の団体申請のため、必ず、JAS 認定の資材確認）。
- ② 生き物を確認するための生き物調査の実施。
- ③ 生き物を育むための退避水路の実施に取り組む。

4. 遵守事項

- ① 消費者の信頼、ブランド化を進めるために色選を行い、農産物検査員の検査により品質・指数を確立し、JAへ全量出荷を行う。
- ② JA, 行政と連携した販売戦略を立て積極的に販売促進活動を行う。
- ③ 出荷する紙袋の管理を徹底する。